

司 会 浜 田 満 明 (島根県教育庁生涯学習課地域学習振興班長)  
尾 崎 寿 子 (高知県吾川郡伊野町立公民館主幹)

1. 須恵町ボランティア派遣事業の取り組み 14:15~14:40  
~学習成果の活用とコミュニティづくり~

大 場 仁《福岡県》須恵町社会教育委員代表

須恵町では、思いやりや助け合いがあるまちづくりを目指して基盤整備を進めている。本事業は、地域に人と人とのふれあいの場をつくり、仲間意識と連帯感を培い、コミュニティづくりに寄与するため、学習を積み重ねたボランティアを学校や地域に派遣し、子どもや地域住民の学習活動に資することを目的として実施している。

2. まち角の交流からまちづくりへ 14:40~15:05  
~「ふれあいサークルつぼみ」がめざすもの~

上 田 容 子《高知県》有限会社 上田微生物 役員

独身の男女を心配した親たちが出会いの場を提供するため、イベントを始めて4年。その中には「須崎川瀬太鼓」の様に独立組織にまで成長したものもある。これらの活動が核となり、地域の女性団体による女性ネットワークが築かれた。そこからまた、新たな活動が生まれつつある。小さなきっかけが大きな渦になろうとしている。

ティー・ブレイク ----- 15:05~15:40

3. 「ボカシあえ」で広がる生ゴミリサイクル 15:40~16:05

穂 田 悦 子《大分県》国見町婦人会

①EMボカシと私たちとの出会い(捨てるゴミを有機肥料に変え野菜作りをして健康につなげる。)②環境にも人にもやさしい行政をめざして協力。③ボカシを作ることでEM菌の浄化作用も研究している。④ボカシ肥料をつくりトマト等の生産が進んでいる。

4. 郷土の誇り「通潤橋」案内ボランティアの役割 16:05~16:30  
~学習の成果と活用~

飯 星 時 春《熊本県》矢部町老人大学大学院

通潤橋は、不毛の「白糸大地」を潤し、そこに住む人々の安らかな生活を願う先人が取り組んだ一大事業であった。その完成には、「少しでも高く水を送りたい」「絶対に壊れない橋を造りたい」という願いを実現するために、様々な工法の研究や、多くの先人たちの汗や苦労があった。

5. 総 括 討 論 16:30~17:00